

教育子ども委員会

説明資料

令和6年3月13日

子ども青少年局

目 次

	頁
1 のびのび子育てサポート事業に係る年代別会員数等	1
2 産前・産後ヘルプ事業に係る事業実績の推移	2
3 ナゴヤわくわくプレゼント事業及び妊婦・子育て家庭応援金の支給等の比較	3
4 妊婦のための緊急時タクシー利用券の支給に係る実施状況	5
5 保育所等の定員充足率	7
6 公立保育所の社会福祉法人への移管に係るスケジュール	8
7 地域療育センター地域支援・調整部門における保育所等への訪問件数の推移	9
8 他の政令指定都市におけるひとり親世帯及び子育て世帯を対象にした主な先進的取組事例	10
9 不妊検査助成を実施している政令指定都市及び内容	11

1 のびのび子育てサポート事業に係る年代別会員数等

(令和5年12月31日現在)

区 分	依 頼 会 員	両 方 会 員	提 供 会 員	計
～ 1・9 歳	0 人	—	—	0 人
20～24 歳	6 人	0 人	3 人	9 人
25～29 歳	107 人	1 人	12 人	120 人
30～34 歳	739 人	20 人	8 人	767 人
35～39 歳	1,865 人	58 人	33 人	1,956 人
40～44 歳	2,154 人	79 人	75 人	2,308 人
45～49 歳	1,360 人	87 人	207 人	1,654 人
50～54 歳	372 人	17 人	261 人	650 人
55～59 歳	39 人	2 人	211 人	252 人
60～64 歳	10 人	2 人	184 人	196 人
65～69 歳	9 人	3 人	116 人	128 人
70～74 歳	2 人	1 人	85 人	88 人
75 歳 ～	2 人	0 人	50 人	52 人
計	6,665 人	270 人	1,245 人	8,180 人
平均年齢	41.0 歳	43.0 歳	55.8 歳	43.3 歳

注：両方会員及び提供会員は、名古屋市内に在住する20歳以上の方

2 産前・産後ヘルプ事業に係る事業実績の推移

区 分	4 年 度	5 年 度
利 用 人 数 (A)	973 人	806 人
派 遣 回 数 (B)	13,743 回	10,963 回
一 人 当 た り 派 遣 回 数 (B / A)	14.1 回	13.6 回
派 遣 時 間 数 (C)	27,463 時間	21,906 時間
一 人 当 た り 派 遣 時 間 数 (C / A)	28.2 時間	27.2 時間
出 生 数	16,683 人	12,436 人

注1：令和5年度は、令和5年4月1日から12月31日までの実績

注2：出生数は、愛知県人口動向調査結果より算出

3 ナゴヤわくわくプレゼント事業及び妊婦・子育て家庭 応援金の支給等の比較

(1) ナゴヤわくわくプレゼント事業

区 分	内 容
目 的	子育てに必要な物品や家事・育児サービスなどをカタログギフトの形でプレゼントすることで、本市内で生まれ、育つ子どもと、その家庭を応援する。
制 度 の 概 要	本市で出生した児童及び1歳の誕生日の前日までに市外転入した児童（生まれた月又は転入した月の月末を待たずに市外転出した場合を除く）に、児童一人あたり5万ポイント（5万円相当）のカタログギフトをプレゼントする。
対 象 者 ご と の 予 算 ・ 件 数	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度対象者分 18,300件 520,360,500円 ・令和6年度対象者分 17,900件 475,513,500円
効 果	<p>アンケートの結果、97.2%が「満足」、「やや満足」と評価している。</p> <p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選べるとは言っても少ないだろうと思っていたら、予想以上の品ぞろえで驚きました。 ・双子用ベビーカーは取り扱いがない店舗が多く、探すのに苦労してましたので、こちらにありすごく助かりました。 ・金銭的な支援も嬉しいですが、物でいただけるというのもとても便利でした。
認 知 し た タ イ ミ ン グ	<ul style="list-style-type: none"> ・案内・申請書が届いた 39.9% ・保健センター・区役所窓口で聞いた 14.4% ・きょうだいがいるから知った 13.2% ・友人・知人から聞いた 12.9% ・市公式ウェブサイト・SNS等で知った 12.6% ・新聞・テレビ等で知った 4.6% ・市内の広報物で知った 2.4%

(2) 妊婦・子育て家庭応援金の支給等

区 分	内 容
目 的	<p>伴走型相談支援と一体的に実施する経済的支援という位置づけであり、より多くの妊婦・子育て家庭が早期に本市の伴走型相談支援とつながることを目的とする。</p>
制 度 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出をし、母子健康手帳交付時等に本人面談を終えた妊婦に5万円を妊婦応援金として支給する。 ・出産をし、新生児乳児訪問時等の面談を終えた方等に出生した児童一人あたり5万円（双子の場合は10万円）を子育て家庭応援金として支給する。
対 象 者 ご と の 予 算 ・ 件 数	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦応援金 18,228件 911,400,000円 ・子育て家庭応援金 17,004件 850,200,000円
効 果	<p>アンケートの結果、97.9%が「とても役立った」、「どちらかというと役立った」と評価している。</p> <p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産休・育休で収入が減る中、物価高も重なり、非常に助かった。 ・健診や分べんにも費用がかかり、それにあてることができた。 ・現金給付だったためネットでの育児用品の買い物にあてられて助かった。
認 知 し た タ イ ミ ン グ	<ul style="list-style-type: none"> ・案内・申請書が届いた 28.9% ・保健センター・区役所窓口で聞いた 16.8% ・友人・知人から聞いた 9.1% ・市公式ウェブサイト・SNS等で知った 5.8% ・新聞・テレビ等で知った 38.0% ・その他 1.4%

4 妊婦のための緊急時タクシー利用券の支給に係る実施状況

(1) 利用要件

- ・ 出産のために医療機関等を利用する時
- ・ 妊娠中または出産直後、体調不良で医療機関等を利用する時
- ・ 妊娠中または出産直後、外出先での体調不良で、自宅または里帰り先へ帰宅する時

(2) 利用人数等

(令和5年12月31日現在)

区 分	4 年 度	5 年 度
送 付 人 数	13,927人	12,792人
利 用 人 数	5,412人	2,126人
利 用 率	38.9%	16.6%

注：タクシー券の利用期限は、発行月から1年間

(3) 利用金額等

(令和5年12月31日現在)

区 分	4 年 度	5 年 度
送 付 金 額	139,270,000円	127,920,000円
利 用 金 額	33,630,500円	10,225,500円
利 用 率	24.1%	8.0%

注：タクシー券の利用期限は、発行月から1年間

(4) 対象人数の考え方

区 分	5 年 度	6 年 度
対 象 人 数	19,200人	18,240人
対 象 人 数 の 考 考	妊娠届出数の平成30年度から令和2年度までの3か年平均	妊娠届出数の令和2年度から令和4年度までの3か年平均

(5) 主な意見

- ・陣痛時に使えて助かった。
- ・子どもの健診の時に使えるとよい。
- ・今回使う機会がなかったが、何かあったときにすごく助かると思う。
- ・妊娠時、お腹が大きくなり体調不良で運転できないとき大変助かった。
- ・出先の体調不良時に使用できとても助かった。
- ・使える期間、範囲が限定的すぎて使いにくかった。
- ・緊急時にしか使えないので使うタイミングがない。
- ・上の子の体調不良で通院する時にも使えるとよい。

5 保育所等の定員充足率

(単位：%)

区 分		定 員 充 足 率		
		3 歳 未 満 児	3 歳 以 上 児	全 体
保 育 所 等	令和 5 年 4 月	88.1	91.9	90.3
	令和 6 年 2 月	100.0	91.9	95.3
保 育 所 認 定 こ ど も 園	令和 5 年 4 月	90.9	91.9	91.5
	令和 6 年 2 月	101.2	91.9	95.5
地 域 型 保 育 事 業	令和 5 年 4 月	69.6	—	69.6
	令和 6 年 2 月	92.1	—	92.1

注1：各月1日現在

注2：「定員充足率」とは、保育所等の利用定員に対する利用児童数の割合

注3：「地域型保育事業」には、小規模保育事業、家庭的保育事業、事業所内保育事業を含む。

6 公立保育所の社会福祉法人への移管に係るスケジュール

区 分	内 容
移管 6 年前	移管公表 保護者説明会（7回程度）
移管 5 年前	
移管 4 年前	
移管 3 年前	法人選定に向けた準備 ・公募要項（案）作成 ・個人懇談会 ・保護者要望集約アンケート
移管 2 年前	移管先法人の公募・選定 ↓ 四者協議会（10回程度）
移管 1 年前	引継ぎ共同保育 ↓
移管 年度	新園運営開始 移管後半年アンケート ↓

注：四者協議会は、保護者代表・移管先法人・公立保育所・保育運営課で構成

7 地域療育センター地域支援・調整部門における保育所等への訪問件数の推移

(単位：件)

区 分	東部地域療育センターぽけっと		南部地域療育センター そよ風
	4 年 度	5 年 度	5 年 度
保 育 所 等	214	206	54
幼 稚 園	47	54	11
そ の 他	29	46	0
計	290	306	65

注：令和5年度は、東部地域療育センターぽけっとが令和5年4月から12月までの訪問件数、南部地域療育センターそよ風が令和5年7月から12月までの訪問件数

8 他の政令指定都市におけるひとり親世帯及び子育て世帯を対象にした主な先進的取組事例

区 分	内 容
ひとり親世帯対象	<ul style="list-style-type: none"> ○交通費の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ ひとり親家庭等高校生等通学交通費助成金（川崎市） ・ バス・地下鉄の特別乗車券（横浜市） ・ ひとり親家庭高校生等通学定期券補助事業（神戸市） ○駐輪場利用経費の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐輪場利用料金の免除（千葉市） ・ 駐輪場利用料金の割引（大阪市） ○住まいの支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ ひとり親世帯家賃補助制度（神戸市）
子育て世帯対象	<ul style="list-style-type: none"> ○居場所及び学習の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校始業前の居場所づくりモデル実施（横浜市） ・ 習い事・塾代助成事業（大阪市） ○交通費の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな学生フリーパス（仙台市） ・ 高校生等の通学定期券補助の大幅拡充（神戸市） ○駐輪場利用経費の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市営駐輪場における子育て支援の充実（神戸市） ○その他の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 出産費用助成事業（横浜市） ・ 子育て応援ヘルパー派遣事業（大阪市）

9 不妊検査助成を実施している政令指定都市及び内容

区 分		内 容
さいたま市	主 要 な 件	<ul style="list-style-type: none"> ・申請日時点に婚姻をしているご夫婦（事実婚関係にある方を含む）で、夫婦の双方または一方が、さいたま市に住民登録があること ・検査開始時点において、妻の年齢が43歳未満であること ・夫婦がともに受けた検査であること ・不妊症の診断のために医師が必要と認めた一連の検査（検査開始から1年以内に行った検査）であること
	助 成 額	<ul style="list-style-type: none"> ・対象となる検査の費用に対して、検査開始時の妻の年齢が35歳未満の方は3万円を、その他の方は2万円を上限に助成 ・夫婦1組につき1回限り
大 阪 市	主 要 な 件	<ul style="list-style-type: none"> ・申請日時点で、夫婦（事実婚を含む）のうちいずれかが大阪市に住所を有すること ・検査開始日時点で夫婦であって、妻の年齢が43歳未満であること ・夫婦ともに行った不妊検査（検査開始日から1年以内）であること（不妊症の診断・治療計画のために医師が必要と認めた検査も含む）
	助 成 額	<ul style="list-style-type: none"> ・5万円を上限に助成 ・夫婦1組につき1回限り ・保険適用の有無を問わない

区 分		内 容
神 戸 市	主 要 な 件	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸市内に住民票がある夫婦（事実婚を含む）であること ・初回検査日における妻の年齢が43歳未満であること ・夫婦がそろって、不妊かどうかを調べる検査を受けていること ・医師が必要と認める不妊検査であること
	助 成 額	<ul style="list-style-type: none"> ・医療保険適用外の医療費の10分の7につき、5万円を上限に助成 ・夫婦1組につき1回限り

